

### 播磨町夏まつり大盛況



▲太鼓が会場内にひびきます

七月二十七日(土)、二十八日(日)に播磨町夏まつりが浜田公園周辺で盛大に開催されました。

二十七日(土)は、健康いきいきセンターで音楽に包まれた手作り結婚式や、瀬戸内クルージングで大勢の人が楽しめました。浜田公園の特設ステージでは、歌やダンスが披露され、夜には、恒例の花火大会でまつり最高潮に。

二十八日(日)には、ステージでのじゃんけん大会や、ピンゴゲーム、県警の音楽隊による演奏、たこのつかみどり、クロリティー大会など楽しい催しが盛りだくさん。最後には総おどりと抽選会で、みんなが一つになつて、まつりの幕を閉じました。



▲大盛りあがりのじゃんけん大会

### 親子で楽しめたとしよかんまつり



▲真剣に見つめる子どもたち

七月二十日(祝)、としよかんまつりは、たくさん親子づれでにぎわいました。人形劇の「リトル・ドラキュラ」、「きたないおうじさま」、パネルシアターの「金のおの・銀のおの」など、準備から公演まで図書館ボランティアによる手作りです。会場の子どもたちは、生き生きとした人形の動きに、じっと見入っていました。他にも、読み聞かせや絵本の展示コーナーもあり、受付などを播磨南高校生のボランティアが手伝いました。

### ハリマナイト県大会優勝!



▲これからも応援してくださいね

兵庫県民体育大会ソフトボール成年男子の部が七月七日〜十四日、相生スポーツセンター、相生高校などで開催。加古郡代表として出場したハリマナイトが優勝しました。県下各地から二十

二チームが参加、今年三度目の出場で念願の初優勝。エース山田勝巳投手、四番打者日高有造選手をはじめ全員が一丸となって勝ち取った優勝でした。メンバーの方は「これからも日々練習を積み重ね、強く、楽しく、いきいきと」頑張っていきますので応援よろしくお願ひします」と話されました。成績は次の通り

一回戦	ハリマナイト 9-0	滝口三ツタン神埼
二回戦	ハリマナイト 2-0	三ツツ電北伊丹
三回戦	ハリマナイト 3-1	姫路クラブ姫路
準決勝	ハリマナイト 6-2	三菱重神戸神戸
決勝	ハリマナイト 19-4	平津クラブ知市

### 健康の集いー野添コミセン



▲足の裏測定でバランスチェック

七月十六日(火)、野添コミセンにて健康の集いが開催されました。

日ごろの生活習慣で気をつけたい点や、歯の話、骨を丈夫にする食事の摂り方など、ゲームを交えた楽しい話が続きました。そして実際に身体を動かして、健康づくりについて考えました。集いの後は、「足の裏測定」で身体のバランスをチェック。本人が思っていたより体の歪んでいることがわかったり、日ごろの姿勢や、歩き方などアドバイスを受けました。

## 土の中からこんにちは

レポーター 門倉 敏子さん



▲発掘調査の様子

七月から十六年ぶりに大中遺跡の発掘調査が始まりました。大中遺跡は弥生時代後半(卑弥呼の時代)の住居跡が数多く発見され、今年度は二十カ所設定し規則的に調査します。

公園の一角には大きな穴がいくつも開いています。土の色や硬さの違いを探りながら弥生人の残した暮らしの様子を掘り出していく作業が続々と続いています。八月十日には「大中遺跡まつり」にあわせ現地見学会があり、発掘調査の成果を皆さんにお伝えしました。

この「播磨大古代の村」に隣接して県立考古博物館(仮称)の整備構想が進められております。将来、大中遺跡を中心に博物館と県下最大の史跡公園が一体化した新たな文化ゾーンになります。

遺跡の見学は自由にできます。皆さんも「考古学者」になってみませんか。

地域の話題や行事をはじめ、「これは何の?」と感じたことなど気軽に知らせてください。

企画調整課 広報係 ☎0794-350356

## ようこそ 播磨町へ

レポーター 米谷 美代子さん



▲生け花にチャレンジ

七月二十七日(土)に友好・姉妹都市である天津市和平区とオハイオ州ライマ市の中学生と、播磨町の中学三年生が集まり、夢や環境について話し合った「三方国青少年サミット」があり、ライマ市からは高校生八名が来町しました。その内の女子高校生二名と引率の方が、近所にホームステイしたので、主婦仲間や、地元の中学生と高校生十八名を交えて、歓迎会を開きました。生け花を紹介したり、昔の遊びのお手玉を披露すると、地元の子どもたちも見たことがなく興味深げでした。ライマ市からのお客様に手作りのプレゼントを用意してくれた子どもたちもいて、大変喜んでくれました。最後に、感謝の意味でライマ市の女子高校生がヴァイオリンの演奏を披露してくれました。

子どもたち同士が、片言の英語を交えて会話する姿を見て、このような同世代の子どもたちの交流の輪が広がっていく機会が増えればいいなと思っていました。

## 親子で楽しめたとしよかんまつり



東部コミセン

社交ダンスサークル

代表者 滝川 澄子さん



ております。

「始められたきっかけは?」  
今年の四月から始めたのですが、「テレビなどで社交ダンスをみて習いたい、気軽に入門できるクラブがない」というご心配の方の声を耳にしたので、この活動を思い立ちました。

「グループの特徴を教えてください。」

毎週木曜日、午後一時三十分より、山本了氏を講師にお迎えして活動しています。現在、十五名程度ですが、男性が非常に少ないので男性の入会を期待しています。

「グループは?」

「エピソードがあれば教えてください。」

一人の男性の入会の動機は、心臓が悪く激しい運動ができなかったが、医者勧めで社交ダンスを習い、健康管理をはかっていることか。

▲みんな楽しく踊ってます